

事業番号	10 01 04	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	林業成長産業化推進事業	部局	林務部	課・室	森林政策課				
		実施期間	H30～	E-mail	rinsei@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標	①労働生産性								
総合的に展開する重点政策	2-2 地域内経済循環の促進		2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進		3-7 先端技術の積極的な活用・導入				
	4-1 県土の強靱化								

1 現状と課題

森林所有者の特定に多大な労力がかかること等により、民間の取組だけでは、手入れが必要な森林における間伐等の森林整備が進まない状況（林地における地籍調査：全国46%、長野県30% R3末時点）。

このため、森林所有者に対し森林管理の意向を確認しながら、市町村が主体となり森林整備を進める制度（森林経営管理制度）が平成31年度（令和元年度）より開始。

森林経営管理制度においては、林業経営に適さない森林は市町村が自ら森林の管理を行い、林業経営に適した森林は、意欲と能力のある林業経営者に管理を再委託するため、県は両者の仕組みを支援する必要がある。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により林業・木材産業では、木材価格の乱高下や林業事業体の事業継続や雇用維持の危機等、多くの課題がある。

2 事業目的

- ・市町村による「森林経営管理制度」を、持続的かつ着実に進めるために必要な支援を行う
- ・林業の成長産業化と効果的な森林・林業施策を進めるため、海外も含めた林業関係者と意見交換を行い、中・長期的な視点を踏まえた指針を検討

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①森林経営管理制度の円滑な導入に向けた研修会等を実施

- ・市町村向け制度研修会や森林GIS等の操作研修会を開催
- ・広域連携を実施する地域において、初期に必要な経費を支援
- ・森林が吸収する温室効果ガス吸収量の認証手続きや販売方法等のマニュアルの作成

②収益性の高い林業のモデルの構築

- ・林業成長産業化と森林の適正な管理の実施に向けて先行して取り組む地域をモデル事業で支援

③ウィズコロナ・アフターコロナ時代の森林・林業、木材産業のあり方の検討

- ・林業事業体・関係団体・市町村との意見交換の実施
- ・フィンランド北カルヤラ県調査団の受入れ、オンラインセミナーの開催

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績		実績	推移	実績	推移			
①	素材生産量	千m ³	570		625	↗	629	↗	800	未達成	林業成長産業化を評価するため、県内の素材生産量を目標として設定

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R4年度	0	56,226	△ 4,400	51,826		0	3.0
R3年度	0	43,488	0	43,488		0	3.0
R2年度	22,330	57,798	△ 3,000	77,128		0	4.0

事業番号	10 01 04	事業改善シート（令和4年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	林業成長産業化推進事業		部局	林務部	課・室	森林政策課		

6 主な取組実績と成果

① 森林経営管理制度の円滑な導入に向けた研修会等を実施

- ・市町村向けの制度全体研修会（林野庁等外部講師）を計2回（156人参加）開催したほか、制度等の運用に悩む市町村へのヒアリングを43市町村で実施
- ・専門性の高い森林GIS等の操作について、繰り返し視聴できる操作動画を作成し、研修会を1回（84人参加）開催
- ・広域連携を推進する諏訪地域において、市町村向けの研修等に必要な経費を支援
- ・ゼロカーボンの推進に向け、森林が吸収する温室効果ガス吸収量の認証手続きや販売方法等の市町村向けのマニュアルを作成し、HPで公表

② 収益性の高い林業のモデルの構築

- ・モデル地域である伊那地域において、森林経営管理制度に先行的に取り組み、森林調査や管理方針の検討を実施
- ・モデル事業5年間の取りまとめを行うとともに、「森のマッチングデイ」を開催し、林業・木材業者交流の場を作り、500名以上が参集【補助件数1件、補助額6,115千円】

③ ウィズコロナ・アフターコロナ時代の森林・林業、木材産業のあり方の検討

- ・フィンランド北カルヤラ県調査団（20名）が来日し、長野県と北カルヤラ県双方の森林・林業・木材産業に係る意見交換を実施
- ・オーストリアのチロル州において森林整備や砂防事業等で活躍された専門家による講演会及び林業大学在校生との交流会を開催

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	素材生産量	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
県外合板工場（R4年素材生産量：合板用231千m ³ ）やバイオマス発電等の需要増加（R4年素材生産量：バイオマス用162千m ³ ）に伴い、素材生産量は541千m ³ （H29）から629千m ³ （R4）へ増加した。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・市町村では専門的な森林経営管理制度に係る業務（森林調査・設計発注等）が本格化傾向
- ・しかし、市町村の林務の専任職員は不足するため、支援が必要
- ・モデル事業について、「森のマッチングデイ」を開催し、川上から川下までの事業者や消費者のマッチングを行うイベントを開催し、今後もフォローアップの取り組みを継続する必要がある

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

- ・市町村職員が抱える専門的な業務（森林調査・設計発注等）を支援するため、行政知識・経験を有する外部人材を短期派遣
- ・モデル事業はR4年度で廃止となるが、市町村と川上から川下の連携を支援していく

事業番号	10 01 04	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	林業成長産業化推進事業		部局	林務部	課・室	森林政策課

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	森林経営管理体制支援事業		63,272 千円	32,611 千円	39,709 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	森林経営管理支援センターの運営	直接	森林経営管理体制の円滑な導入に向けた市町村支援を実施 市町村研修（全体2回、個別43市町村）、GIS等研修会1回		
2	森林経営管理体制広域連携体制支援事業	補助金	広域連携を実施する地域において、市町村連携による研修会等経費を支援 諏訪地域 215千円		
3	森林経営管理J-クレジット創出支援事業	委託	森林が吸収する温室効果ガス吸収量の認証手続きや販売方法等を支援するマニュアルを作成 全市町村へ配布		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	林業成長産業化地域創出モデル事業		6,217 千円	6,227 千円	6,115 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	林業成長産業化地域創出モデル事業	補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・地域検討会を3回開催 ・モデル事業5年間の取りまとめ（林業事業者へのアンケート調査ほか） ・「森のマッチングデイ」を開催（10月） 【補助件数1件、補助額6,115千円】		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	森林（もり）の未来図作成事業		0 千円	0 千円	646 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	次期「長野県森林づくり指針」の普及	委託	「長野県森林づくり指針」を3月末に策定し、HPにて公表 「長野県森林づくり指針」の策定（3月末）		
2	フィンランドとの連携	補助金	フィンランド北カルヤラ県調査団の受入れ、オーストリアの森林・林業技術者による講演会開催 レセプション開催1回		